学校番号	1301

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	みのまわりの数学	単位数	２単位	年次	2,3年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日常生活に潜む「数学」はどのようなものがあるか確かめましょう。
・数学の知識は持つだけではなく、活用をしましょう。
・発表やグループワーク、レポートを通して知識を深めます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
数学実験等からみのまわりに潜んでいる数学についてキーワードを考え知識を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
数学事象をまとめ考察して言語化することから課題解決能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に数学ゲームや実験に参加し、集団で協動して議論し説明する力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ある事象と数学的な知識の関係性を論理的に判断することができる。	ある事象に関する説明を、既知の知識を交えて、論理的に考察・言語化することができる。	数学の実用性に興味をもち、新たに得た知識に汎用性を伴わせようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	論理的思考	必勝法のあるゲーム その方法の考察	a:ゲームのルールを正しく把握している。 b:ゲームを論理的に考察し、実践しようとしている。 c:興味を持ってゲームに取り組んでいる。	授業内演習	課題プリントおよびレポート	授業態度・発言 グループワークの参加
		必勝法のあるゲーム その作成・発表・説明	a:ゲームのルールを自身で把握・構築できている。 b:その必勝法をわかりやすく伝えることができている。 c: 興味を持ってゲームに取り組み考察しようとしている。	授業内演習	課題プリントおよびレポート	授業態度・発言 グループワークの参加
ステージ2	場合の数・期待値	場合の数 確率	a:場合の数の算出方法を正しく理解している b:効率の良い算出方法を考察できている。 c:みのまわりの事象において、起こりうる場合の数について考察しようとしている。	授業内演習	課題プリントおよびレポート	授業態度・発言 グループワークの参加
		期待値	a:期待値の算出方法を理解している。 b:実際に起こりうる数値を計算による数値のズレについて考察できるようになる。 c:実践的なデータを何度も計測しようとしている。	授業内演習	課題プリントおよびレポート	授業態度・発言 グループワークの参加
ステージ3	図形と計量	相似の利用	a:相似の性質を理解し、所定の数値を正しく算出できている b:実測値と理論値の誤差の原因を分析し、言語化できるようになる。 c:計算方法の汎用性に気づき、日常生活に応用させようとする。	授業内演習	課題プリントおよびレポート	授業態度・発言 グループワークの参加

	データの分析	度数分布表 分類と整理	a:データの個数や数値を正しく記録、整理できている b:各自で定めた基準について、自己分析を行い、その信用度を言語語化する。 c:関連性の発見を日常生活の中でも発見し、探求しようとする。	授業内演習	課題プリントおよびレポート	授業態度・発言 グループワークの参加

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度